

これは、令和2年8月27日付け議長名で市長に提出した提案・要望内容です。

新型コロナウイルス感染症対策に係る市議会からの提案・要望事項について

このたびの新型コロナウイルス感染症対策について、これまでの市における国の緊急支援策を含む個人や事業者向けの各種支援制度・事業を打ち出し、市民生活の支援や市内経済の再生対策等の取り組みに対し、敬意を表します。

しかし、現在も新型コロナウイルスの感染者は、大都市圏内を中心に全国的に発生し、ついには市内でも感染者が確認されるなど、さらなる感染拡大の一途をたどっており、対応が長期に及ぶことは確実と言わざるを得ません。

本市議会では、各常任委員会を中心に、未だ終息が見えないコロナ禍の状況を踏まえ、これからの新型コロナウイルス感染症対策に向けた提案・要望事項をまとめました。今後の対策の一助としていただくとともに、市民の暮らしと安全を守るため、スピード感のある支援・対策を推進されますよう、下記のとおり提案・要望いたします。

記

1 防災対策について

長野市の防災訓練では、避難施設における人と人との距離（できるだけ2メートル、最低1メートルあける。）をとった場合に、実際にどれくらいの人数が避難施設に入れるのか、段ボールを使って体育館アリーナを仕切って訓練していました。また、車避難も有効ということで、指定の駐車場に実際に何台入れるのかも検証し訓練していました。

現在、安曇野市においても新型コロナウイルス感染者が出ており、また、長雨による災害も懸念されるところです。万が一に備え、早急に防災訓練のあり方を検討していく必要があります。そのためにも、防災ラジオの普及をはじめ、マスク・体温計・除菌品・段ボールの仕切り板・段ボールベッドなどの備蓄品の整備や、避難所・避難場所における感染症対策、車避難対策など、基準となるマニュアルを作成するとともに、区等における防災訓練の見直し、また、防災用品の整備等、市民に対しての啓発活動を提案し、要望いたします。

2 各種会議や行事の持ち方・あり方について

市や公民館、区、各種団体等が開催する今後の各種会議について、会場の場所や時間、人と人との距離（できるだけ2メートル、最低1メートルあける。）、マスク着用、除菌、換気など、会議の持ち方などについて、ある程度の基本的なガイドラインを早急に構築するとともに、既にあるものについても検証・見直しをすることを提案し、要望いたします。

また、各種行事やイベントのあり方についても、市民や各種団体等と話し合うなど、市

民と一緒に協力して、コロナ禍の社会・経済が動いていく、また市民が生きていく方策を整えていくことを提案し、要望いたします。

3 保育施設におけるエアコンの早期設置について

現在、認定こども園・幼稚園等の保育施設では、3歳児未満の保育室にはエアコンが設置されていますが、3歳児以上の保育室には、ほぼ未設置の状態です。今年は小さな子どもでさえもマスクをつけて感染症予防をしなければならず、普段の夏とは状況が違う中で、熱中症対策も行わなければなりません。子どもたちの負担軽減のためにも、3歳児以上の保育室への早期エアコン設置を提案し、要望いたします。

また、状況に応じて、緊急性の高い部屋については、気化式冷風機の設置等、早急に何らかの代替策を講じることを提案し、要望いたします。

4 職員、会計年度任用職員や職員OBなどの増員によるマンパワーの充実について

市は、現在のコロナ禍の中で必要な対策、特に市内経済の復興に係る諸対策を実施してきており、市民の身近なところへも支援が届いてきた感触もあります。

しかし、近隣地域と比べ、給付金等が市民のもとへ届く時間的な差も生じており、また、各種支援に係る相談対応の状況などにも十分でない面が感じられました。

職員は、通常の業務を遂行しながらのコロナ関連対応となっており、どうしてもマンパワーが不足します。

職員、会計年度職員の採用・増員や職員OBの活用等、思い切った発想・対応でのマンパワーの充実を提案し、要望いたします。